

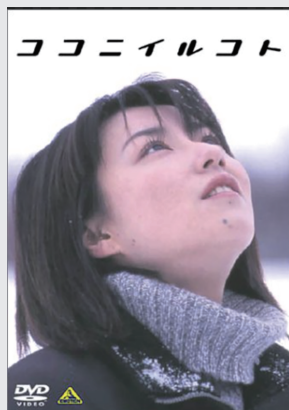
福岡に棲む日々

福岡映画LIFE -その3- 篇

前号の終わりに2000年以降で好きな作品を・・・と書いたのですが2000年代に入ってもう四半世紀以上が経っており、だいぶ範囲が広い事に今さらながら気づきました、2000年を近く感じてしまふとは我ながら歳を取ったとつくづく感じます。

さて、それではお薦め作品について書き進めようと思います。

サブスクでもなかなか見れなくて最近メルカリで探してDVDを購入した3作品について紹介します、サブスクで見れないなら紹介されてもどないすんねん!?って感じますが。。



まずは『ココニイルコト(2001)』主演・真中瞳(現 東風万知子)、共演・堺雅人ほか、監督・長澤雅彦(夜のピクニック、天国はまだ遠くなど)

今の人は真中瞳と言っても現芸名の東風万知子と言っても誰もピンとこないのではないのでしょうか？ 彼女は1990年代終わりから2000年代初頭にかけて人気を博したTV番組「進め電波少年」というバラエティー番組の企画で人気に火がつき、その後「報道ステーション」でスポーツコーナーを担当するなど活躍しました。ただしほんの一瞬。そんな時期に本業の女優として初主演したのが本作品です。

キャストが目立つのはやはり堺雅人でしよう、元々舞台俳優として人気だった彼が

映像作品に出だして間もない頃の作品です、今では堺雅人が出るっただけでも観客動員が違うのではないかと思います。

その他では、舞台が大阪という事もあり笑福亭鶴瓶や島木譲二など芸人さんをはじめ芸達者な役者さんがコミカルな演技を見せてくれます。

作品のあらすじとかは端折りたいと思いますので気になる方はググってください、以下の作品も同様です。

真中瞳の演技は何とも見てられない感じですが、前述のとおり舞台が大阪でもあり軽妙なやり取りで気楽に見ていきます、そしてエンドロール中に差し込みでエピソード的なシーンが挿入されていますが、それが秀逸なので最後まで油断なく見ていたきたいです。エンディング曲も作品と同名タイトルでスガシカオのカッコイイ曲なので必聴です。



次に『サヨナラCOLOR(2005)』主演・竹中直人・原田知世、共演・後述します、監督・竹中直人。

SUPER BUTTER DOGの同名楽曲「サヨナラCOLOR」からのインスパイア作品、ラストでも当然使用されています、これまた必聴の名曲なので是非！

さてさてヒロインの原田知世さんは角川三人娘の2番目に『時をかける少女(1983)』でデビュー後多数の角川映画作品を経て『私をスキーに連れてって(1987)』で人気が最高潮に達したので

はないかと思えます、彼女は私より3歳年上ですが個人的には40代に差し掛かる頃の方が好きです、ハイっ!! 『幸せのパン(2012)』は最高です。

そしてこの作品、今は亡き忌野清志郎をはじめ斉藤和義、北川悠仁(ゆず)、谷中敦・大森はじめ(スカパラ)、高野寛、田島貴男、浜崎貴司、永積タカシなどなど多くのアーティストが出演してそれを見つめるのも楽しいです。

(2005)はコメディ映画の傑作として映画好きの間で評価を得ています。ちよっとののための呪いで不当な評価を受けがちな上野樹里の弁護が長くなってしまいました。

作品自体も笑いあり、涙ありで大変良作です。是非ご覧あれ。



最後に紹介するのは『亀は意外と早く泳ぐ(2005)』主演・上野樹里、共演・蒼井優ほか、監督・三木聡(転々、インスタント沼、時効警察など)。

上野樹里と言えば「のだめカンタービレ(2006)」この高視聴率をマークしたTVドラマシリーズ(後に映画化)、その1年前に公開された作品。

上野樹里は「のだめカンタービレ」で色が付き過ぎてしまい、後々彼女自身を苦しめてしまう程そのユーモラスな役柄がハマってしまうのですが、それ以前の作品でも好演しています。主役ではありませんが駆け出しの頃に「ジヨゼと虎と魚たち(2003)」に妻木木聡を相手にかなりきわどい役を演じたり、初主演作「スウィングガールズ(2004)」はスマッシュヒットとなり人気女優の仲間入りを果たします、その他「サマータイムマシンブルース



profile おぐらさん

IQ71. 〇〇〇〇

倉敷生まれ博多在住

岡山離れ早20年余、放浪の末に脱サラして11年前から福岡に定住。

一人遊びに明け暮れる日々、一生懸命人生を謳歌中。

それではまた次号でお会いしましょう。